

愛媛県立 松山西高 同窓会報

平成 9 年 7 月 30 日発行
発行所
松山西高等学校同窓会
松山市久万ノ台
印刷所
株式会社 松栄印刷所

「校 風」



校 長

水 関 秀 雄

本年四月に松岡校長の後任としてまいりました水関です。初代の清家敏雄先生から数えて九代目となります。よろしくお願い申し上げます。人は幼い頃だれもが、時代と地域とを繭のようにして育つといわれますが、皆様お一人お一人も、それぞれの時代と地域とを背負って成長され、今日に至っておられることと存じます。

同窓生とは文字どおり、同

じ窓から同じ風景を眺めた者のことです。皆さんは、同じ窓から同じ精神の風景を見続けたことでしょうか。この風がいれば校風ではないでしょうか。

先輩の皆様の風を受け、それが現在松山西高で学ぶ者の新しい生命力となつていきます。後輩も、「師弟同行」をモットーに、本校の伝統の根幹をなす「文武両道」に励

み、それぞれの分野で成果を挙げていくところです。

本校創立から四半世紀を迎え、今や卒業生も一万人に達する勢いです。いよいよ伝統校への仲間入りです。

今年も本校卒業生十九名の教育実習生を受け入れました。一人一人、素晴らしい資質を持ち、又、研究熱心で立派な後継者が教育界にも育っていることをうれしく思いました。一万人に達する同窓生が、各地、各界で御活躍されていますこと、この上なく心強く感じています。

伝統という言葉には、縦につながる連帯意識を見ることができます。この深い同胞意識や風土的共存意識、生活の土壌から芽生えた仲間意識を大切にしていきたいものです。

今後とも、先輩の志を継ぎ、次の世紀の担い手となつて活躍できる後継者の育成を目指して努力する所存です。何とぞより一層の御支援御指導を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶といたします。

け や き 通 り



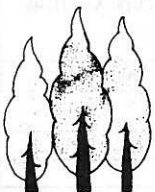
二 代 校 長

梶 野 寛 喜

学校は都市の郊外に森に囲まれて存在するべきものであると考えている。旧い大学などで、うっそうと茂る大樹に埋もれるように、古びた赤煉瓦の校舎が見え隠れたりすると、もうそれだけで「これぞ学園」と無性に嬉しくなる。

わが松山西高校は、周囲は緑に囲まれた好環境に恵まれながら、肝心の校地内は、土質と排水の関係で、木が育ちにくいのは残念なことである。西高を訪ねた時は、常に樹木の育ち具合を眺めているが、最も気になるのは、裏門からテニスコートにかけての櫟の並木である。この櫟

は、昭和五十七年三月卒業の第六期生から、卒業記念として寄贈されたものである。この年は私の退職の年であり、私にとっては、退職記念樹でもあるので、殊にその生長ぶりが気にかかる。遅々とした生長ぶりではあるが、それでもかなり大きくなってきた。この木が、やがて亭々とそびえて緑のトンネルを形成し、いつの日か、西高名所の「けやき通り」になることを、ひそかに夢見ている次第である。



西高の増々の発展を



P.T.A会長

和田良平

緑が多く、素晴らしい環境と実績を残されて御卒業された同窓会の皆様方には、日頃から物心両面にわたり御支援を賜り、P.T.Aを代表いたしましたし、心から厚くお礼申し上げます。

先日、P.T.A研修旅行のバスの中で、「西校創立から十周年記念式典まで」の貴重なビデオを拝見させて頂き、改めて西高創立当時から現在に至る迄の御苦労を認識させて頂きました。

その当時の活躍された生徒さん達におかれましては、現在では立派な社会人として活躍され、家庭人としても、子育てに邁進しておられる最中ではないでしょうか。早く二世を御自分の母校へとお考えの方もいらっしゃると思います。

さて、私事ですが、我が家庭を持つのと、本校の創立が同時期であり、西校新設がマ

スコミにも大変報道されていましてので記憶に残っております。また、近所からも通学者が多くなりましたので話題には事かかなかった様です。しかし、私の二女が西校のお世話になり、ましてP.T.A会長のお世話をさせて頂く様になるとは、全く思いもつきませんでした。この頃では、西高という言葉や活字には大変気になり、在校生の活躍に一喜一憂している状況です。

創立当時と比べ少々学生気分もおとなしくなり、行動力に欠ける一面も見られますが、内に秘めた闘志は、まだまだ健在のようで、西高も先生方の御努力で、西高の魂は永遠に継続されている様でございます。

最後になりましたが、伊賀上会長を始め、役員・会員の皆様方の御健勝と、同窓会・西高の増々の御発展を心からお祈り申し上げます。

W A Y



五期生

日特建設(株) 四国支店主任

中村和久

高校を卒業して十七年、大・学・就職・転職・結婚といろんなことがありました。

二十年前田舎から松山に出て来て、向学心に燃え?思い出すのは、三年間通ったあの道、朝七時半の追試、夏休みの補習、補習。苦しかった二時間続きの体育、今も二時間走やっていますか。英語のT先生の蛍雪時代、頭がぐらくらしました。

元気にしていますか、五期生のみなさん。なにをしていますか、どこにいますか。また今度会いたいですね。

ところで、みなさん校歌を覚えていますか。私も、一番でさえ確かではありません。同窓会でみんなで歌いたいですね。

それでは、みなさんガンバッテキマシヨイノ!

平成 8・9 年度 部活動の主な成績

【 運 動 部 】

部 名	平成 8 年度		平成 9 年度
	新 人 (地区)	新 人 (県大会)	県 総 体 成 績
テニス	男		団 体：1 回戦 個 人 W：1 回戦
	女	個人 S：1 回戦 中川	団 体：1 回戦
ソフトテニス	男	団 体：1 回戦 個 人：3 位 板坂・渡部	団 体：ベスト 8 個 人：2 回戦
	女	団 体：3 位 個 人：ベスト 16 高田・白石 成松・細川	団 体：ベスト 8 個 人：ベスト 16 成松・細川 (四国大会出場)
卓球	男	団 体：ベスト 8 個 人 W：ベスト 16 S：ベスト 16 岡田・山下 河野	団 体：1 回戦 個 人 W：1 回戦 S：1 回戦
	女	団 体：ベスト 8	団 体：ベスト 16
バレーボール	男	敗者復活 2 回戦	1 回戦

【運動部】

部名	平成8年度		平成9年度
	新人(地区)	新人(県大会)	県総体成績
バスケットボール	男		1回戦
	女		1回戦
ハンドボール	男	中予:4位	ベスト8
	女	県大会出場	1回戦
バドミントン	男	団体:県大会出場 個人S:ベスト8 村上, 沖野 ベスト16	団体:1回戦 個人S:2回戦 村上, 沖野
	女	団体:3位 県大会出場 個人W:ベスト16 筆脇・川本 S:3位 西山 ベスト16 村木, 筆脇	団体:2回戦 個人S:2回戦 西山
ラグビー			予選リーグ第4位
陸上競技	男	4×100MR 5位 4×400MR 5位 トラック競技 3位 二宮 100M 3位・200M 2位 高野 400M 2位・800M 8位 白石 400M 6位・800M 3位 中山 400M 8位・400MH 3位 井上 1500M 2位 川内 1500M 4位 井手 走り高跳び 7位	4×400MR 8位 二宮 100M 7位 井上 1500M 4位 川内 1500M 8位 中山 400MH 6位
	女	4×100MR 5位 松村 400M 4位	
柔道	男	団体:県大会出場 個人:ベスト8 樋口	団体:2回戦 個人:ベスト16 樋口 (軽重量級)
	女		団体:1回戦 個人:ベスト8 藤岡
剣道	男	団体:3位 個人:渡部大(県大会出場)	団体:ベスト16 個人:2回戦 渡部大
	女	団体:県大会出場 個人:扇谷, 佐々木 (県大会出場)	団体:ベスト16 個人:2回戦 扇谷, 佐々木
サッカー		中予3位	2回戦
ダンス		優勝「人形心残抄」	優勝「人形心残抄」 2位「La Mujer Espana」
弓道	男	団体:県大会出場	団体:予選敗退
	女	団体:県大会出場 個人:県大会出場	団体:予選敗退
水泳	男	総合 3位 200Mリレー 2位 400M・100Mリレー 3位 笹岡 400M個人メドレー 3位 戸田 400M・100M自由形 3位 小松 400M・100M自由形 4位 増井 200Mバタ 1位 100Mバタ 2位 城戸 200M個人メドレー 1位 100M背泳ぎ 1位 菊池 200M背泳ぎ 8位	総合 4位 400Mリレー 4位 400Mメドレー 6位 戸田 400M・100M自由形 4位 増井 200Mバタ 1位 100Mバタ 5位 城戸 200M個人メドレー 1位 100M背泳ぎ 1位
	女	三浦 400M個人メドレー 5位 200M個人メドレー 5位 日野 400M個人メドレー 3位 200M個人メドレー 4位 松田 200M平泳ぎ 5位 100M平泳ぎ 6位 小西 200M・100M平泳ぎ 2位 200M・100M背泳ぎ 3位 阪森 100M自由形 4位 50M自由形 2位 別宮 100M自由形 3位 50M自由形 1位	400Mリレー 3位 400Mメドレーリレー 3位 日野 400M個人メドレー 4位 200M個人メドレー 5位 小西 200M・100M平泳ぎ 6位 山崎 400M自由形 6位 阪森 100M背泳ぎ 6位
野球		2回戦	総合 3位 400M・800Mリレー 2位 400Mメドレーリレー 2位 小松 1500M自由形 3位 400M自由形 5位 戸田 400M自由形 4位 200M自由形 2位 城戸 100M・50M自由形 2位 増井 200Mバタ・100Mバタ 1位 (県大会出場)

【文化部】

- 放送部 第43回NHK杯全国高校放送コンテスト出場 松永眞紀子
- 合唱部 第10回全国高等学校総合文化祭出場

平成 8 年度 同窓会 決算書

①収入済額 - ②支出済額 = ③次年度繰越

①11,475,794 - ②5,809,357 = ③5,666,437

1 収入の部

項 目	予 算 額	収 入 済 額	増・減(-) 額	摘 要
繰 越 金	2,019,372	6,035,686	4,016,314	前年度より
会 費	1,094,000	1,094,000	0	@ 500×422名(1年生) @ 1,000×873名(2・3年生)
終 身 会 費	4,350,000	4,340,000	-10,000	@10,000×434名(3年生)
雑 収 入	6,628	6,108	-520	預金利息
合 計	7,470,000	11,475,794	4,005,794	

2 支出の部

項 目	予 算 額	収 入 済 額	増・減(-) 額	摘 要
会 議	800,000	492,291	307,709	役員会・総会補助
印 刷	400,000	272,722	127,278	総会案内状・名簿等印刷
卒 業 記 念 品	100,000	86,108	13,892	卒業証書用丸筒
接 待	70,000	29,100	40,900	謝礼等
通 信・運 搬	1,000,000	805,704	194,296	総会案内・名簿等郵送料
事 務	100,000	24,292	75,708	事務関係諸費
事 業	300,000	0	300,000	研修費用補助他
同 窓 会 会 報	500,000	39,140	460,860	同窓会会報発行
特 別 会 計	3,000,000	3,000,000	0	特別会計積立
育 英 基 金	1,000,000	1,000,000	0	文化・体育育英基金
予 備	200,000	60,000	140,000	転退職者餞別
合 計	7,470,000	5,809,357	2,660,643	

平成 9 年度 同窓会 予算書 (案)

1 収入の部

項 目	算 額		比 較 増・減(-) 額	摘 要
	予 本 年 度	前 年 度		
繰 越 金	5,666,437	2,019,372	3,647,065	前年度より
会 費	1,085,500	1,094,000	-8,500	@ 500×441名(1年生) @ 1,000×865名(2・3年生)
終 身 会 費	4,290,000	4,350,000	-60,000	@10,000×429名(3年生)
雑 収 入	8,063	6,628	1,435	預金利息
合 計	11,050,000	7,470,000	3,580,000	

2 支出の部

項 目	算 額		比 較 増・減(-) 額	摘 要
	予 本 年 度	前 年 度		
会 議	1,500,000	800,000	700,000	役員会・総会補助
印 刷	500,000	400,000	100,000	総会案内状・名簿等印刷
卒 業 記 念 品	500,000	100,000	400,000	卒業証書用丸筒・記念品
接 待	200,000	70,000	130,000	謝礼等
通 信・運 搬	1,500,000	1,000,000	500,000	総会案内・名簿等郵送料
事 務	300,000	100,000	200,000	事務関係諸費
事 業	500,000	300,000	200,000	研修費用補助他
同 窓 会 会 報	1,000,000	500,000	500,000	同窓会会報発行
特 別 会 計	3,800,000	3,000,000	800,000	特別会計積立
育 英 基 金	1,000,000	1,000,000	0	文化・体育育英基金
予 備	2,500,000	200,000	50,000	転退職者餞別等
合 計	11,050,000	7,470,000	3,580,000	